

# 旅立ち

社会福祉法人しらとり会  
利用者通信 (NO. 62)  
令和2 (2020) 年8月1日発行

今月は、5名の方からの投稿です。

謎かけ

・バイキングに参加したとかけて

色々有って迷ったと解く

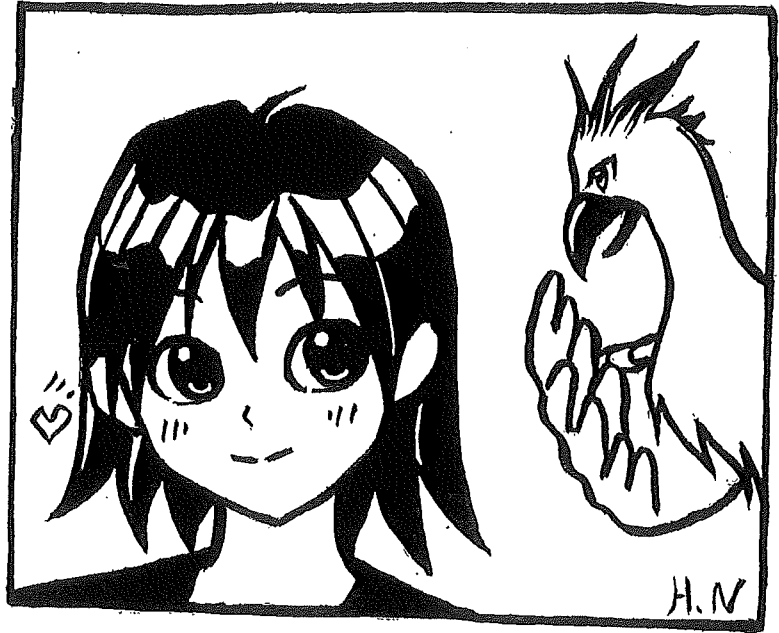
その心は? 「ドリアって、どりあ?」。

・酔っぱらいのおじさんに話し掛けられたとかけて

死後の世界について話し始めたと解く

その心は? 「あのよお」。

(岡本 祐子)



1986年 ー同志社大学卒業後の話ー (その1)

ー1986年4月から1987年、1988年の事ー

僕は、1986年の3月に同志社大学商学部を卒業しました。1986年4月に竹馬の友である開業医の息子であるO君のコネで、島根県浜田市の町役場の建設課に配属になりました。その年は、歌手の岡田有希子さんが自殺した年でありました。僕は、3週間勤めた後、田舎で公務員として生きていくのが嫌で辞めました。それから、父がO君のお父さんに謝り、ニート状態に陥りました。そこで、何か目標を持つとうと思い、浜田で島根県庁を受験しようと思いました。

(Y.Y.)



- ワーカーの中には、初対面の人と親しく打ちとけて話しの出来ない者も多い。
- 大学で文字で人間関係を覚えているだけだからデータがないと、つまり専門書を読むように分からなかったら前後して、進んだり戻ったりしてじっくり考えてからしかコミュニケーションが取れない。
- 初対面の人と親しく話しが出来ないのに、人の紹介がなければ他人と話しが出来ないようでは、どうやって人間関係を広めるのか？
- 人のお世話をする仕事の厳しさが分かってない。
- 自分が苦手でも挑戦してマスターするのがプロ根性である。
- いつ来るプロ。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、8月17日(月)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.